

# 福知山公立大学初級地域公共政策士【2020～2023 年度入学生】 地域経営人材育成基礎プログラム 募集要項

本学では、地域経営分野でのキャリアアップや再チャレンジを目指す大学生や社会人に対して、地域経営学部の科目を体系的に編成したプログラムを開講しています。「初級地域公共政策士」資格制度と連動させることで、地域を担う市民、そして高度の専門的職業人を養成します（2019 年度は本学から 3 名、2020 年度は 25 名、2021 年度は 6 名、2022 年度は 5 名、2023 年度は 7 名が取得しました）。

## 初級地域公共政策士とは？

2011 年度からスタートした京都発の地域資格です。地域公共政策の担い手に求められる能力を育成するプログラムを履修し、12 ポイントを取得すれば、認定機関である（一財）地域公共人材開発機構から職能資格として「初級地域公共政策士」が付与されます。本資格制度は、現在公共政策系の大学等（※）で活用されています。

### →→→→ 資格の特徴 ←←←←

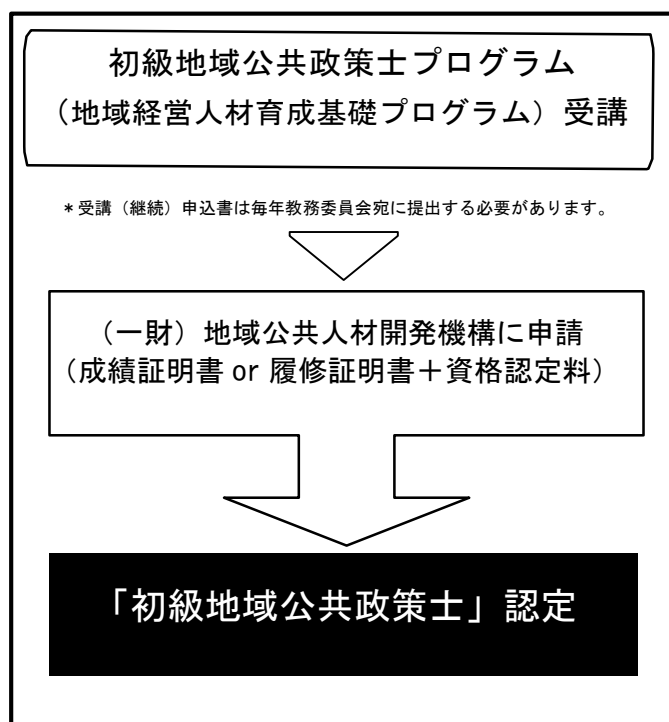
1. どのようなプログラムで、どのような能力を得たのかははっきり「見える」。
2. 学問的資格でもあり、職能的資格でもある。
3. 外部の評価機関にプログラムの質保証（社会的認証）を受けている（2016 年 4 月 1 日～2030 年 3 月 31 日）。
4. EU の教育・職能資格で用いられる EQF（※）レベルを参照している。

※European Qualifications Framework の略

詳細は、（一財）地域公共人材開発機構の HP <http://www.colpu.org> をご覧ください。

※ 京都大学（終了）、京都光華女子大学、京都産業大学、京都橘大学、京都府立大学、京都文教大学、同志社大学、福知山公立大学、佛光大学、龍谷大学、琉球大学、京都府農業大学校

## 初級地域公共政策士 資格取得までの流れ



### 《資格取得者の声》

この資格を取るにあたり学習した科目の中で、特にコミュニケーション演習が印象に残っています。現在の地方地域がどのような状況にあり、なぜ地域公共人材が必要なのかを学ぶことが出来ました。また、地域キャリア実習で北近畿地域の企業で5日間お世話になり、PBLを行うなどアウトプットする場が設けられていることで、より実践的な学びを得ることができました。卒業後は、地域金融機関で働いていますが、各セクターを越えた協働できる地域を目指し、地域の課題解決に取り組んでいます。

西田 光輝（2021 年度卒業生）

プログラムに該当する科目は、4 年間学んできた中でも、興味深く印象的な講義が多かったです。特に中小企業や公共政策など地域を代表するセクターでは「地域×○○」を体系的に学ぶことができました。また必要プログラムは、学部卒業に必要な科目と共通しているものが多く、自身の単位編成の観点から取得しやすいと思います。資格取得を念頭に受講することで、普段の講義により一層の意味やモチベーションを持ち、取り組める点も魅力だと思います。地域経営学という、自身の学びの足跡を残すという意味でも、プログラムを受講してみたいかでしょうか。

本田 湧大（2022 年度卒業生）

※ 資格希望者は、各プログラムを履修した上で「初級地域公共政策士」資格の認定にあたり、資格認定料を（一財）地域公共人材開発機構（COLPU）へ 3,300 円（税込）支払う必要があります（本学の学生には、合格者に対する補助があります）。

初級地域公共政策士 「地域経営人材育成基礎プログラム」 (学部レベル/EQF6)

- ① 目的 : 北近畿地域の現状を踏まえたうえで、地域社会の多様な資源に新たな価値や位置づけを見出し、その資源を活用して、地域のさまざまなセクターと連携と協働によって地域社会の活力を創出するための基礎的な能力を育成する。
- ② 育成する人物像 : 北近畿地域において地域社会に関する様々な理論・政策・地域活動を適切に組み合わせて活用することができるグローバル人材
- ③ アウトカム (プログラム修了時に獲得することが期待される能力): 以下のとおり

達成目標		地域社会に関する様々な理論・政策・地域活動を適切に組み合わせて活用することができる (6-0-1)
	知識	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 対象となる課題群の相互関係を把握し分析することができる (6-1-3)</li> <li>・ 地域社会における様々な活動と、活動をに成る主体との関係の実践的把握 (6-1-4)</li> </ul>
	技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域における複雑な課題群について、その解決に必要な要素の特定と解決のためのプログラムの提示及び適用ができる (6-2-1)</li> </ul>
	行能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 課題の解決のために必要な社会的資源を調達することができる (6-3-3)</li> </ul>

④ 2024年度 開講科目一覧

下記の中から12ポイントとコミュニケーション演習を履修すること (全て「良」以上が条件)。

	科目名	配当年次	ポイント数	担当者	履修条件
北近畿系	地域資源論	1年次	2ポイント	谷口 知弘	3科目の中から2科目を履修すること
	地域産業論	2年次	2ポイント	佐藤 充	
	地域農業システム論	2年次	2ポイント	波多野 豪	
分析系	統計学	1年次	2ポイント	倉本 到	2科目の中から1科目を履修すること
	社会調査論	2年次	2ポイント	佐藤 充	
公共経営系	ソーシャルデザイン	2年次	2ポイント	谷口 知弘	3科目の中から1科目を履修すること
	公共政策論	2年次	2ポイント	杉岡 秀紀	
	観光まちづくり論	2年次	2ポイント	谷口 知弘	
企業経営系	地域ベンチャー育成論	2年次	2ポイント	亀井 省吾	3科目の中から1科目を履修すること
	中小企業論	3年次	2ポイント	佐藤 充	
	財務会計論	2年次	2ポイント	井上 直樹	
地域研究	地域経営研究 I	3年次	2ポイント	全 教 員	1科目履修すること (学生向け必修)
	グローバル特別演習 V	3年次	2ポイント	杉岡 秀紀	1科目履修すること (社会人向け必修)
公共マインド	コミュニケーション演習	2年次	1ポイント	杉岡 秀紀 福嶋 真治	必修 (2024年度の開講日は調整中)

《問い合わせ窓口》1号館1階学務課教務係 もしくは [educational@fukuchiyama.ac.jp](mailto:educational@fukuchiyama.ac.jp) まで